

JSSGS 第 13 回大会 開催企画書

- 日時：2014 年 6 月 28 日（土）～29 日（日）
- 会場：中京大学名古屋キャンパス（センタービル使用予定）
- 大会テーマ：スポーツ・ジェンダー学の射程

- 形式：分科会並列形式
分科会区割り例
 - [A 案] 4 会場×（2 時間 2 枠+1 時間 1 枠+2.5 時間 2 枠）最大 20 分科会
 - [B 案] 4 会場×（2.5 時間 4 枠）最大 16 分科会
- ・各分科会用の枠（最大 2.5 時間）を自由に使う（2 時間で終わってもよい）
- ・枠を 2 つ使ってもよい
- ・A および B 案は、あくまでも最大数を想定したもの。会場数を減らすなど調整は柔軟に対応可

- ※ 本形式の提案理由等
 - ・従来の形式の場合、他領域の著名な研究者の成果を聞くことができるなど、テーマに関連して幅広い知見が得られる一方で、会員各自の専門性を深め、具体的な研究成果に結びつきにくい側面があった。
 - ・メリット：会員各自のスポーツ・ジェンダー学に関する専門性を高め、科研申請等の研究プロジェクトをめざした会員のネットワークの構築に寄与することができる／少人数で議論を深化させることができる／若手研究者が分科会運営をすることによって取り組んでいる研究テーマの専門性を深めることができる／科研等の助成金を利用するなどの方法によって、招聘したい講師を幅広く自由に検討することができる
 - ・デメリット：1 分科会の参加者数が分散する／関心のある分科会の時間帯が重なった場合に一方にしか参加できない場合がある／専門領域がクリアになっていない会員はどの分科会に出席すればよいか判断が難しい

- 分科会テーマ例（「スポーツ・ジェンダー学の射程」を表現できるよう、幅広く考える）
暴力／SH、性的マイノリティ、メディア、学校教育、コーチ教育、エリートスポーツ、スポーツ権保障、オリンピック、グローバリゼーション、ダンス、歴史…
（テーマの検討自体が学会のブレインストーミングになることをめざす）

- 分科会の企画・運営
理事・幹事・監事が企画を提案するとともに、会員からも広く企画を募集する。